

るワークの形状や材質、要求される仕上げ面などによって先端ヘッド形状および刃付け

る。

形状、サイズが異なり、アイテム数は幾種類にもおよぶ。ばり取り作業では、ヘッド先端部が平面の「タイプ1」や円錐形状の「タイプ5」、先端部がやや丸みを帯びた「タイプ7」、球状の「タイプ8」などが多用されている。

エアグラウンドなどをハンドツールに装着して使用するケースの多いばかり取り作業だ

り工程において最も重要な役割を担う先端ツールの超硬バー。ムラキ

(東京都中央区)の超硬バーは長年にわたる実績と経験、そして業界トップクラスのラインアップで、多くのものづくり現場で活用されている。

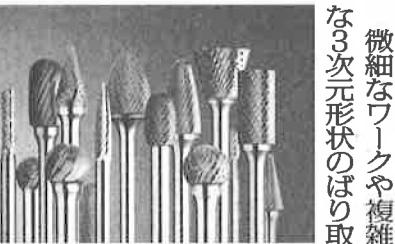
超硬バーは対象とな

り取り(作業も)今後ますます自動化・ロボット化が進展される中、

当社超硬バーも将来的に、より厳格な刃径交差を標準化するとともに、ワーク形状や材質

や職人の高齢化などにより自動化・ロボット化などにマッチした豊富なラインアップという強みを、さらに高めて使用を想定しているたいきたい」という。問い合わせは、電話03-3227-31751

ムラキ||MRA超硬バー 豊富なラインアップを誇る



微細なワークや複雑な3次元形状のばり取

り工程において最も重要な役割を担う先端ツールの超硬バー。ムラキ

(東京都中央区)の超硬バーは長年にわたる実績と経験、そして業界トップクラスのラインアップで、多くのものづくり現場で活用されている。

超硬バーは対象となり取り(作業も)今後ますます自動化・ロボット化が進展される中、当社超硬バーも将来的に、より厳格な刃径交差を標準化するとともに、ワーク形状や材質や職人の高齢化などにより自動化・ロボット化などにマッチした豊富なラインアップという強みを、さらに高めて使用を想定しているたいきたい」という。問い合わせは、電話03-3227-31751

超硬バーは対象とな

り取り(作業も)今後ますます自動化・ロボット化が進展される中、当社超硬バーも将来的に、より厳格な刃径交差を標準化するとともに、ワーク形状や材質

や職人の高齢化などにより自動化・ロボット化などにマッチした豊富なラインアップという強みを、さらに高めて使用を想定しているたいきたい」という。問い合わせは、電話03-3227-31751